
吐息

林
恭子

おぼろな月が中空で

やわらかな合図を送っている

寝釈迦の阿蘇は

眠りを誘う

月を送り出して

嶺は

一仕事終り

安らかな憩い

おぼろな月の合図に

安心を受け取ったのだ

地震ないは

人々をいたぶった

悪夢に

傷つきすぎて

吐息

草木は項垂れ

待つ

明らけき月